

共創事業カート実証実験

概要

- 多良間村においては、島唯一の公共交通機関として村営バスが運行しているが、空港・港から集落までの拠点間のみ運行しており、集落内においては、移動サービス(タクシーなし)がなく交通空白地となっている。
- そのため、高齢者の通院等については、家族や社会福祉協議会等の送迎に頼らざるをえず、勤労世代の家族や慢性的な人手不足を抱える福祉分野の職員にとっては負担となっていた。
- これらを解消するために、電動カート（グリーンスローモビリティ）を活用した集落内の移動を支援する新たな移動サービスの実証実験を実施。

概要

実施エリア	多良間村集落内
利用方法	停留所での乗降
料金	無料
実施期間	2024年12月2日（月）～27日（金）（※日曜日は運休） 朝8時～夕方18時まで
運行方法	手動による運行 ※運転手は3人依頼し、午前・午後で交代で実施
運行頻度	30分に1便（集落内を八の字で双方向運行）



共創事業カート実証実験 結果

- 全体の利用者数は延べ300名、一日の平均は5,6人で、主に午後の利用が多かった。
- 実際の利用者からは、「おしゃべりしながら楽しかった」という声や、家の前まで送迎を希望する声等の運行体制の改善を求める意見があった。

結果概要		
利用者数	12月2日～27日	延べ300名
	大道・土原回り	134名
	嶺間・吉川回り	166名
日別・曜日別	・ 大道・土原回り 日平均5.2人 ・ 嶺間・吉川回り 日平均6.4人 ・ 平日（月～金）と休日（土）では、休日の利用が多くみられる。	
時間帯別	・ 大道・土原回り、嶺間・吉川回りともに、午後の利用者が多かった。 ・ 朝8時台、9時台の利用は少ない。	
停留所別	・ 大道・土原回り、嶺間・吉川回りのどちらも、宿泊施設、スーパー、公園での乗車・降車が多かった。 ・ 体験乗車として1周乗り続ける利用が多くみられた	
その他・要望	・ 利用者ヒアリングでは、「非常に便利」という意見が多かった。 ・ その他、スーパー前停留所の位置変更や、車両にドアの設置等の要望があった。	

◆利用した方からの意見

【島内住民】

- ・ おしゃべりしながら楽しかった。
- ・ できれば家の前まで来てほしいかった。
- ・ ルートや時間が分かりづらかった。

【島外の方】

- ・ ガイドの役割になって良い。



▲実際の乗車の様子